

(16) 大気汚染（粉じん等）

- 1) 調査目的

撤去工事实施区間に直近の集落である荒瀬集落において粉じん等の発生状況を把握することを目的とする。
- 2) 調査時期・頻度

出水後に工事が実施されることを考慮し、平成 29 年 8～12 月に調査を実施した。
- 3) 調査方法

デポジットゲージを設置し、降下ばいじん量を採取した。1 月ごとに試料を採取し、固形物総量を測定し、降下ばいじん量を算出した。

5) 調査結果

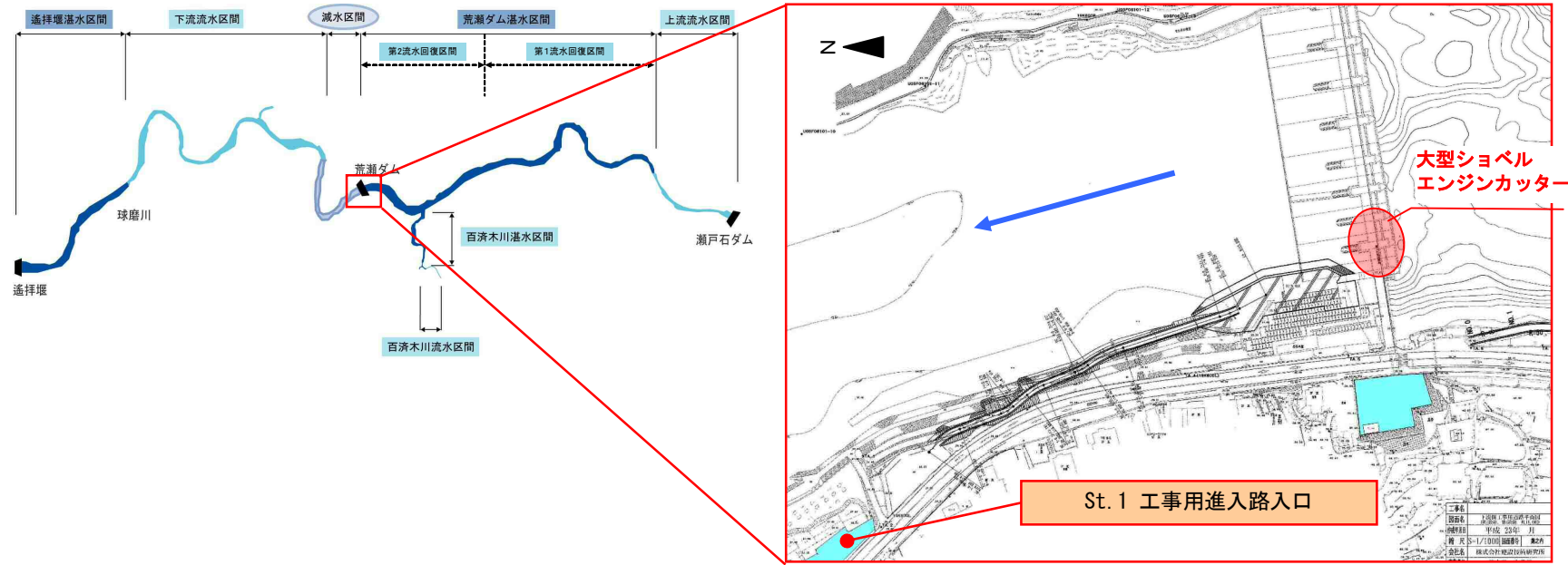
平成 29 年 8 月以降の降下ばいじん量 0.99～2.19 t/km²/月であり、参考基準（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成 11 年 建設省都市局）の 10t/km²/月）を下回るものであった。

表 1 粉じん調査結果（平成 29 年度）

項目		8月	9月	10月	11月	12月
pH		6.5	6.5	6.0	6.7	6.6
水不溶性物質	mg	93.9	81.7	14.1	9.1	25.6
水溶性物質	mg	60.8	40.3	123.0	63.4	60.3
固形物総量	mg	154.7	122.0	137.1	72.5	85.9
ロート径	cm	30	30	30	30	30
降下ばいじん量	(t/km ² /期間)	2.19	1.73	1.94	1.03	1.22
採取期間	開始日	8月1日	8月31日	9月29日	10月31日	12月1日
	採取日	8月31日	9月29日	10月31日	12月1日	1月5日
採取日数	日	30	29	32	31	35
降下ばいじん量	(t/km ² /月)	2.19	1.79	1.82	0.99	1.04
※ 参考値	(t/km ² /月)	10				

※参考値：10t/km²/月（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成11年 建設省都市局監修））

- 4) 調査地点
- 基本的には工事前の調査地点と同じ地点で調査を実施した。すなわち、工事区域と荒瀬集落の間に位置する場所とし、荒瀬ダム下流の企業局用地内にデポジットゲージを設置した。



現地状況写真（平成 29 年 12 月 4 日）
（大型ショベルによる堤体周辺の整備作業取壊し）



現地状況写真（平成 29 年 12 月 18 日）
（大型ショベルによる堤体周辺の整備作業取壊し）